

＜リニア中央新幹線を地域振興に活かす伊那谷自治体会議勉強会＞

建築家 くま けんご 隈 研吾 氏 講演会のご案内

日時

2017

1. 19 (木) 14:30 ~ 15:45 (開場 14:00)

入場無料

会場

飯田市公民館

(飯田市吾妻町 139)

※会場には駐車場がありませんので、会場にあたりましては公共交通機関をご利用いただくか、周辺の民営駐車場をご利用ください。

※申込み多数の場合は、先着順にて調整をさせていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。



講師紹介



Photo (c) J.C. Carbone

建築家/東京大学教授 くま けんご 隈 研吾 氏

講演テーマ 『リニア時代に向けた地域デザイン』(仮)

➤ 講師プロフィールは、裏面をご覧ください。

申込方法

参加ご希望の方は、申込書を記入のうえ FAX、または、電子メールにて申込みください。(電子メールの場合は、申込書の内容を本文に記していただき、送信いただいても構いません。)

長野県建設部リニア整備推進局  
〔 TEL 026(235)7016 〕

FAX 026(235)7482

e-mail linear-kyoku@pref.nagano.lg.jp

※ご記入いただいた情報は、当勉強会に関する目的以外には使用しません。

| 参加申込書         |  |
|---------------|--|
| 代表者住所または所属団体  |  |
| 連絡先<br>(電話番号) |  |
| 参加者氏名         |  |

## 隈 研吾 (くま けんご)

1954年横浜生。1979年東京大学建築学科大学院修了。85-86年に米国・コロンビア大学客員研究員。1990年、隈研吾建築都市設計事務所設立。2001年～2008年、慶應義塾大学教授。2009年に東京大学教授に就任、現在に至る。初期の主な作品には、亀老山展望台（1994）、水ノガラス（1995、全米建築家協会ベネディクタス賞）、1997年「森舞台/登米市伝統継承館」（日本建築学会賞受賞）、「馬頭広重美術館」（2000、村野賞）、グレート・バンブー・ウォール（北京、2002）など。

近年では、日本国内で、サントリー美術館（2007）、根津美術館（2009）、梶原木橋ミュージアム（2010）、浅草文化観光センター（2012）、長岡市役所（2012）、歌舞伎座（第五期・2013）、九州芸文館（2013）、中央郵便局 K I T T E（2013）、豊島区庁舎（2015）、富山キラリ・富山市立ガラス美術館・図書館（2015）、小松精練 F a b o（2015）などを発表。海外では、フランスに、ブザンソン芸術文化センター（2012）、F R A C マルセイユ（2013）、ダリウス・ミヨー音楽院（2013）、エントレポット・マクドナルド（2014）、リヨン・コンフレアンス H I K A R I（2015）、中国・杭州で中国美術学院杭州民芸博物館（2015）などを完成させている。

進行中のプロジェクトでは、スコットランドのヴィクトリア・アンド・アルバート・ミュージアム・ダンディー、スイス・ローザヌの E P F L（スイス連邦工科大学）のほか、フランスのサン・ドニ駅、アルベール・カーン・ミュージアム、イタリアのパドヴァ・コンベンション・センターなどがある。また、東京オリンピックに向けて建設される新国立競技場の設計にも携わっている。

海外での授賞歴には、2002年にスピリット・オブ・ネイチャー・ウッド賞（フィンランド）、2007年にベストグローバルデザイン賞（ちよっ蔵プラザ&シェルター）、2008年にはフランスのエネルギー・パフォーマンス建築賞などがある。また、R I B A 国際会員、A I A（全米建築家協会）名誉会員も務めている。

著書は、『自然な建築』（岩波新書 2008）、『小さな建築』（岩波書店 2013）、『日本人はどう住まうべきか？』（養老孟司氏との共著 日経 BP 社 2012）、『建築家、走る』（新潮社 2013、新潮文庫 2015）、『僕の世界』（大和書房）等があり、多くが海外で翻訳出版されている。英語訳は『反オブジェクト』、近著の『自然な建築』『小さな建築』は中国、韓国でも出版され、英訳（村上春樹の翻訳で知られる Alfred Birnbaum による）は、2015年10月にロンドンの AA Publications より刊行された。